

茂原市学校再編だより

《 本 納 地 区 版 》

第 2 号

令和 2 年 7 月 発行

本納小学校の移転等に関するご意見・ご質問について

茂原市教育委員会では、本納小学校の移転について、令和 3 年 9 月の開校を目指し、本納小学校の新校舎の建設を進めています。

そこで、本納小学校の移転や新校舎の建設等について、アンケートや説明会等で地域の方々から寄せられた主なご意見・ご質問について、下記のとおり回答いたします。

地域や保護者の皆さまが安心して、子どもたちの成長を見守っていただけるよう万全を期してまいります。

～ Q & A ～



《崖の危険回避に関すること》

Q：危険性の回避として本納小学校の裏の崖を崩すことはできないのか？

A：本納小学校裏山の複数の地権者との用地交渉や、本納城址に関する文化財の調査、崖を崩す工事等で、多くの時間と費用を要することになります。早急に安全・安心な教育環境を確保するためには、本納中学校敷地内に令和 3 年 9 月に新築移転し、さらに本納中学校の空き教室等を活用することが、最短で最善の方法です。

《新校舎に関すること》



Q：新校舎の概要は？

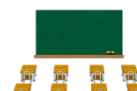
A：新校舎は、鉄筋コンクリート造の 3 階建を予定しています。普通教室は 8 室（うち特別支援教室は 2 室）、他に給食配膳室、昇降口、トイレなどを設ける計画です。

Q：本納小学校と本納中学校の階段の高さの違いに問題はないのか？

A：中学校施設整備指針に基づき、階段の両側に手すりを設置し、滑り止めの処置を講じます。なお、本納小学校の児童たちと、実際に本納中学校内を歩いて回り、問題等がないか一緒に検証しましたが、特段問題となるような箇所はありませんでした。

Q：本納中学校周辺の地質に問題はないのか？

A：新校舎建設地の地質調査を実施した結果、地表から 6.35m の深さに固い地層があることが判明しました。この調査結果に基づき、新校舎の設計を行いましたので問題はありません。なお、液状化の恐れがないことも事前に調査しています。



《水害に関すること》



Q：昨年10月25日の大雨の際、本納中学校の生徒が冠水した道路を下校したと聞くと、今後の学校側の対応は？

A：令和元年10月25日、千葉県では記録的な大雨が降り、11人もの死者が発生した大災害となりました。茂原市の多くの地域でも浸水被害があり、市内の小中学校では、通学路の冠水等により100人近い児童生徒が帰宅できない状況となりました。

そこで、茂原市教育委員会では、非常変災対応について見直しを行いました。例えば、朝6時の時点で「大雨警報」等が発表されている場合は、一斉に臨時休業となります。詳しくは、下記の【「大雨警報」・「洪水警報」・「大雪警報」発表時の対応について】をご覧ください。

「大雨警報」・「洪水警報」・「大雪警報」発表時の対応について



◆概要◆

【登校前】

- ☆午前6時の時点で「警報」が発表されている場合は、一斉に臨時休業となります。
- ☆「警報」が発表されており、前日の午後8時までに解除されていない場合は、翌朝、学校から連絡メールがくるまでは自宅待機となります。
- ☆「警報」が発表されていない場合でも、台風の接近が迫っている場合は、中学校区の学校間で臨時休業とするか協議します。

【登校後】

- ☆「警報」が発表された場合は、下校は保護者引き渡しとします。保護者が来られない場合は、児童生徒は学校へ留め置きます。
- ※学校は安全・安心なところです。保護者は、悪条件で危険の中、無理をして迎えに来ることはお控えください。
- ※本納小学校は、崖の危険性等を考慮し「大雨注意報」が発表され、天気予報が悪い場合は、「大雨警報」発表時と同等の対応をとります。⇒臨時休業や保護者引き渡し等の対応となります。

《参考》令和元年10月25日に帰宅できず学校に泊まった生徒数

中学校名	東中	富士見中	茂原中	南中	本納中	早野中	西陵中
学校に泊まった生徒数（人）	0	24	2	30	0	27	0

※小学校については、茂原小、五郷小、鶴枝小、中の島小の4校で合計15人が学校に泊まりました。

※翌10月26日の午前中には、小中学校の全児童生徒が帰宅できました。

※本納中学校では、グラウンド北側の一部に浸水がありましたが、校舎や本納小学校の新校舎建設計画地を含めた本納中学校敷地内のほとんどで浸水はありませんでした。

【お問い合わせ】

茂原市教育委員会 教育総務課 学校再編推進室

電話：20-1557

FAX：20-1607

